

農山漁村地域整備計画実施状況評価調書

計画の名称	栃木県 緑豊かな森林、安全・安心な県土づくりのための整備計画（平成26年度～平成30年度）									
計画策定主体	栃木県									
対象市町村	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町（14市11町）									
計画期間	平成26年度～平成30年度（5年間）									
計画の目標	<p>県土の保全、水源かん養、地球温暖化の防止、林産物の供給等森林の有する多面的機能の維持・増進及び原木の搬出コスト低減を図るために、森林整備・地域振興の基盤となる林道の整備を図るとともに、既存の林道施設の維持管理・更新等を適切に行うためのメンテナンスサイクルを構築する。</p> <p>また、本県は全国と比べ花粉症の罹患率が高く、花粉発生源対策が急務であることから、少花粉スギへの転換を図るとともに、高齢級の森林を更新することにより森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、安全・安心な県土づくりに資する。</p> <p>更に、荒廃地の復旧整備や荒廃森林の整備を行うなど、積極的に山地災害危険地区対策を推進することにより、森林の持つ水土保全機能を向上させ山地災害の未然防止を図るとともに、森林の多面的機能の維持・増進を図る。</p>									
評価指標	<p>森林管理道の整備により、整備区域内の路網密度が34m/haに上昇する。</p> <p>林道施設の個別施設計画策定（63施設）</p> <p>花粉発生源植替え面積の増加（150ha）</p> <p>山地災害防止機能が確保される山地災害危険地区の増加（75地区）</p>									
計画の概要	対象事業	事業名		事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容（工種及び数量）	工期	計画期間内の総事業費〔千円〕	備考	
		事業型	事業箇所名（地区名）							
		森林整備事業	育成林整備事業	栃木県内（佐野市）	栃木県	佐野市	森林管理道開設1路線	H26～30	225,000	
			機能回復整備事業	栃木県内	宇都宮市 森林組合ほか	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町	森林整備1式	H27～30	510,000	
			林道改良事業	栃木県内	栃木県、宇都宮市、那珂川町	宇都宮市、塩谷町、那珂川町	林道改良3路線	H26 H29 H30	54,000	
			林道点検診断・保全整備事業	栃木県内	栃木県、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、益子町、茂木町、塩谷町、那須町、那珂川町、森林組合	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、益子町、茂木町、塩谷町、那須町、那珂川町	林道点検診断・保全整備1式	H28～30	40,000	
治山事業	栃木県内		栃木県	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町	溪間工1式 山腹工1式	H26～30	2,500,000			
効果促進事業	栃木県内	栃木県	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町	山地災害危険地区標識設置1式	H26～30	96,000				
全体事業費	3,425,000千円									

項目	評価細目	評価	説明欄																															
評価	交付対象事業の進捗状況	○	<p>計画していた事業量が完了しているか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業名</th> <th>事業費 (千円)</th> <th>事業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">森林整備事業</td> <td>育成林整備事業</td> <td>230,477</td> <td>林道開設 1 路線</td> </tr> <tr> <td>機能回復整備事業</td> <td>509,773</td> <td>森林整備 148.16 ha</td> </tr> <tr> <td>林道改良事業</td> <td>51,506</td> <td>林道改良 3 路線</td> </tr> <tr> <td>林道点検診断・保全整備事業</td> <td>56,355</td> <td>林道点検診断 106 橋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">治山事業</td> <td></td> <td rowspan="2">2,545,373</td> <td>溪間工 1 式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山腹工 1 式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>効果促進事業</td> <td>27,164</td> <td>山地災害危険地区標識設置 373基</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>3,420,648</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上記のとおり計画していた事業を適切に実施した</p>	事業名		事業費 (千円)	事業量	森林整備事業	育成林整備事業	230,477	林道開設 1 路線	機能回復整備事業	509,773	森林整備 148.16 ha	林道改良事業	51,506	林道改良 3 路線	林道点検診断・保全整備事業	56,355	林道点検診断 106 橋	治山事業		2,545,373	溪間工 1 式		山腹工 1 式		効果促進事業	27,164	山地災害危険地区標識設置 373基		計	3,420,648	
	事業名		事業費 (千円)	事業量																														
	森林整備事業	育成林整備事業	230,477	林道開設 1 路線																														
		機能回復整備事業	509,773	森林整備 148.16 ha																														
林道改良事業		51,506	林道改良 3 路線																															
林道点検診断・保全整備事業		56,355	林道点検診断 106 橋																															
治山事業		2,545,373	溪間工 1 式																															
			山腹工 1 式																															
	効果促進事業	27,164	山地災害危険地区標識設置 373基																															
	計	3,420,648																																
事業効果の発現状況	○	<p>目標とする事業効果が発現されたか</p> <p>適切かつ計画的な森林整備及び基盤となる林道等の整備により、森林の多面的機能の発現と間伐材の安定的な搬出、利用を図り、間伐等に要する雇用を創出することができた。 また、未着手の山地災害危険地区に着手し、森林の持つ水土保全機能を向上させ、山地災害の未然防止を図ることができた。</p>																																
成果目標の目標値の実現状況	○	<p>定量的指標を達成できたか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標の項目</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林管理道の整備により、整備区域内の路網密度が34m/haに上昇する。</td> <td>34m/ha</td> <td>36m/ha</td> <td>106%</td> </tr> <tr> <td>林道施設の個別施設計画策定</td> <td>63施設</td> <td>106施設</td> <td>168%</td> </tr> <tr> <td>花粉発生源植替え面積の増加</td> <td>150ha</td> <td>149ha</td> <td>99%</td> </tr> <tr> <td>山地災害防止機能が確保される山地災害危険地区の増加</td> <td>75地区</td> <td>77地区</td> <td>103%</td> </tr> </tbody> </table> <p>概ね100%に達している</p>	指標の項目	目標値	実績値	達成度	森林管理道の整備により、整備区域内の路網密度が34m/haに上昇する。	34m/ha	36m/ha	106%	林道施設の個別施設計画策定	63施設	106施設	168%	花粉発生源植替え面積の増加	150ha	149ha	99%	山地災害防止機能が確保される山地災害危険地区の増加	75地区	77地区	103%												
指標の項目	目標値	実績値	達成度																															
森林管理道の整備により、整備区域内の路網密度が34m/haに上昇する。	34m/ha	36m/ha	106%																															
林道施設の個別施設計画策定	63施設	106施設	168%																															
花粉発生源植替え面積の増加	150ha	149ha	99%																															
山地災害防止機能が確保される山地災害危険地区の増加	75地区	77地区	103%																															
今後の方針			<p>引き続き、多面的機能を有する森林を適切かつ計画的に整備するとともに、森林整備・地域振興の基盤となる林道の整備を推進する。 また、荒廃地の復旧整備や荒廃森林の整備を行い、積極的な山地災害危険地区対策を推進する。</p>																															